

株主の皆さまへ

中間 報告書

2025年度 | 2025.4.1 ▶ 2025.9.30

NHKニッパツ

日本発条株式会社





代表取締役社長執行役員、COO

上村和久

なくてはならない キーパーツを提供する

平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。
株主の皆さまにおかれましては、
今後とも一層のご支援を賜りますよう、
よろしくお願い申し上げます。

Q

前年同期と比較した
2025年度上期の業績について
教えてください。

A

HDD関連事業などが好調で増収と
なりましたが、主に為替差損益の
悪化により減益となりました。

売上高は3,939億円、営業利益185億円、経常利益198億円、親会社株主に帰属する中間純利益は139億円の実績となりました。

前年同期に対し、HDD関連事業の好調や半導体関連事業の数量増により27億円の増収となりましたが、固定費の増加や為替による利益の押し下げなどもあり、営業利益は44億円の減益となりました。

▶ 事業セグメント別の状況

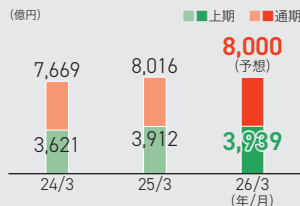
懸架ばね事業は、輸出の減少などにより日本国内で減益となりましたが、タイで市場が低迷するなか一部車種の数量増などにより増益となったほか、米欧拠点で生産性の改善が進み固定費が削減されたことに加え、売価改善や市況回収などもあり損失が縮小しました。

シート事業は、国内やタイでの数量減、米国での車種・品種の構成悪化や一過性の費用などにより、大幅な減収減益となりました。

精密部品事業は、タイでのHDD機構部品の増加やインド子会社の連結会社化により増収となりましたが、人件費を含めた将来投資負担の増加により減益となりました。

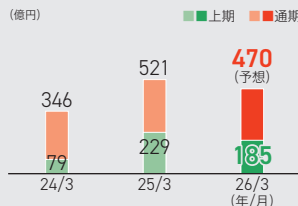
売上高

3,939 億円



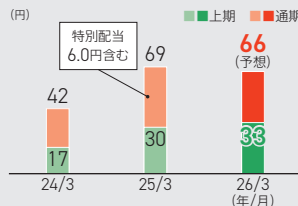
営業利益

185 億円



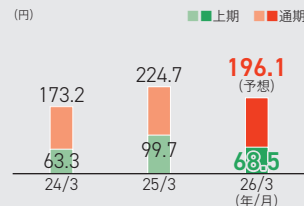
1株当たり配当額 (DPS)

33 円



1株当たり純利益 (EPS)

68.5 円



その他財務指標についてはファクトブック
をご覧ください

<https://www.nhkspg.co.jp/ir/library/factbook>



DDS (Disk Drive Suspension) 事業は、HDDサスペンションの需要増により増収となりましたが、売価の下落やパーツ高による利益の下押し影響、また、人件費を含めた将来投資負担の増加により減益となりました。

産業機器ほか事業は、半導体プロセス部品の数量増により増収となりましたが、化成品事業の撤退に加え、円高影響や人件費を含めた将来投資負担の増加などにより減益となりました。

Q

当初の計画と比較して
2025年度通期業績の見通しは
いかがでしょうか。

A

DDS事業は引き続き好調に推移
する見込みで、全体では期首の
計画を据え置く形といたします。

下期もシート事業の低迷が予想されるほか、産業機器ほか事業でも半導体、特にNAND型フラッシュメモリの需要回復の遅れにより半導体プロセス部品が計画を下回り、金属基板も数量回復の遅れにより、いずれも厳しい収支となる見通しです。

米国追加関税については、通期の支払影響が約9割の回収を見込んでいます。引き続き全額の回収を目指してお客様との交渉を続けていきます。

Q

2026中期経営計画
(以下、26中計)の進捗について
教えてください。

A

26中計に対し、米国の貿易政策の影響など外部環境の変化はありますが、
全体としてはほぼ計画通りに進んでいます。

キャッシュアロケーションについて

キャッシュアウトについては、計画を上回る資金を効果的に活用しています。将来の企業価値を高めるための成長投資に積極的に資金を配分しています。

成長事業について

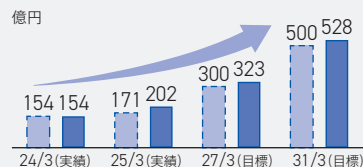
成長3事業のCAGRについては、半導体プロセス部品が目標を上回る見通しです。モーターコア、金属基板は、車の電動化が鈍化していますが、将来の需要拡大に向けて開発・生産への備えを着実に進めていきます。

■売上高年平均成長率(CAGR) 期間: 24/3期～31/3期

半導体プロセス部品

目標 18%
最新見通し 19%

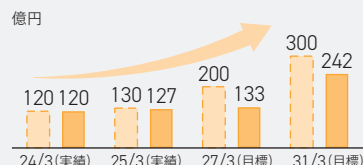
■中計時の目標
■最新見通し



モーターコア

目標 14%
最新見通し 10%

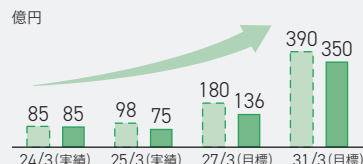
■中計時の目標
■最新見通し



金属基板

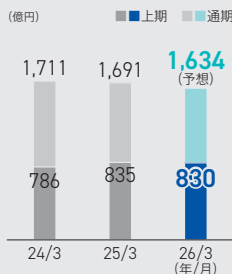
目標 24%
最新見通し 22%

■中計時の目標
■最新見通し

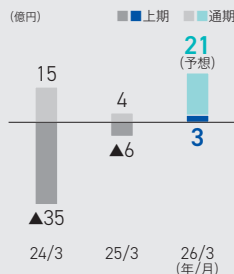


懸架ばね事業

売上高

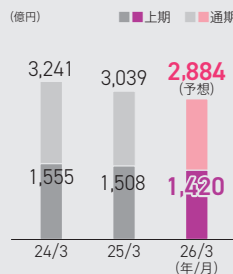


営業利益

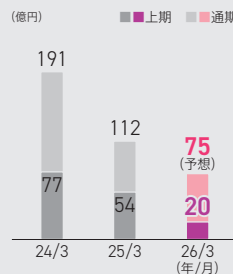


シート事業

売上高

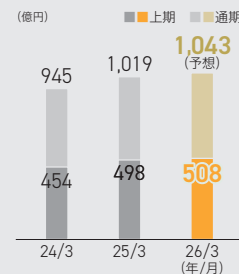


営業利益



精密部

売上高



■ 2026中期経営計画 財務目標とキャッシュアロケーション

		25/3期 (実績)	26中計 (目標)	キャッシュイン					
				24実績 + 25予想 2年間合計	2年間進捗率	26中計目標 3年間			
売上高・ 損益	売上高	8,016億円	8,500億円	営業CF ^{※1} 1,920億円	71%	営業CF 2,700億円			
	営業利益 (営業利益率)	521億円 (6.5%)	520億円 (6.1%)						
	経常利益 (経常利益率)	579億円 (7.2%)	570億円 (6.7%)	政策保有株式売却 60億円	40%	政策保有株式売却 150億円			
	当期純利益 (当期純利益率)	481億円 (6.0%)	430億円 (5.1%)	金融機関借入等 250億円	100%	金融機関新規借入 250億円			
キャッシュアウト									
				24実績 + 25予想 2年間合計	進捗率	26中計目標 3年間			
財務 指標	投資 効率	ROE	11.9%	投資 1,720億円	人的資本投資 320億円	64%	投資 2,500億円	人的資本投資 500億円	
		ROIC	8.3%		DX投資 110億円	55%		DX投資 200億円	
					CN ^{※2} 投資 50億円	50%		CN ^{※2} 投資 100億円	
					研究開発投資 520億円	74%		研究開発投資 700億円	
	株主 還元	配当性向	30.7%	株主還元 510億円	事業投資 720億円	72%	株主還元 600億円	事業投資 1,000億円	
					配当 270億円 自己株式取得 240億円	67% 120%		配当 400億円 自己株式取得 200億円	

※1 営業CF1,920億円は、本来の営業CF1,142億円にキャッシュアウトの投資に含まれる費用778億円(人的資本投資265億円、DX投資30億円、CN投資10億円、研究開発投資473億円)を加算しています。

※2 カーボンニュートラル

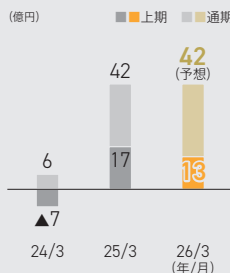
当社の決算説明会資料をIRサイトに公開しています。最新の業績や今後の取り組みについて、ぜひご覧ください。→

<https://www.nhkspg.co.jp/ir/library/meeting>



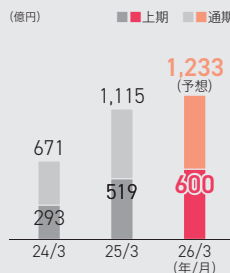
品事業

営業利益

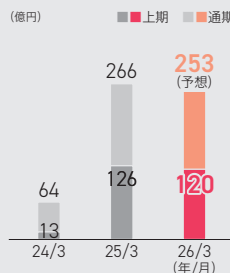


DDS事業

売上高

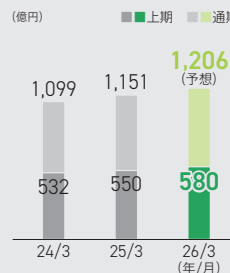


営業利益

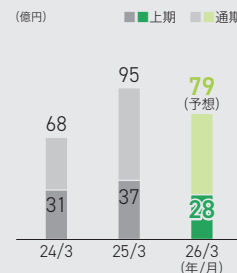


産業機器ほか事業

売上高



営業利益



▶ 日経 CNBC「トップに聞く」にCEOの茅本が出演しました

当社代表取締役会長 CEOである茅本 隆司が、2025年6月16日(月)放送の日経CNBC朝エクスプレス内のライブインタビューコーナー「トップに聞く」に出演しました。

番組では、当社の事業の強みや情報通信分野であるDDS事業や半導体プロセス部品など成長事業の展望、懸架ばね事業やシート事業の今後の事業戦略について語りました。

以下のQRコードよりアーカイブ動画をご確認いただけますので、ぜひご覧ください。

動画リンク https://vdg.jp/ngRVKUMZ_l-k



※動画視聴期間：2026年6月17日まで

※動画内の株価等の情報は、放送日時時点のものです。

日時 2025年6月16日(月) (出演時刻 9:45~10:03)

放送局 日経CNBC(有料放送)

番組名 朝エクスプレス 出演コーナー「トップに聞く」

▶ 女子中高生・女子学生向けのものづくり講義(イベント)を開催



2025年8月、内閣府男女共同参画局が推進する「女子学生の理工系分野への進路選択促進」に賛同し、当社では理工系女子中高生・女子学生を対象とした見学会(リコチャレ)を開催しました。

当日は、X線CTを使って携帯電話や機械などの“普段は見えない内部構造”を可視化する体験や、クルマに使われる大型のばねやシートの製造現場の見学を通じて、ものづくりの魅力を感じてもらいました。

参加者からは、「X線CTで、直接見るできない物体の内部を画像で見せてくれたことで新たな発見がありました。」ばね工場見学では、「ばねの鋼材が熱せられて赤くなっていた点に驚きました。」といった声が寄せられました。

今後も当社は、女子中高生・女子学生の理工系分野への進路選択を応援し、未来の技術者育成に貢献していきます。

▶ スーパースポーツカー向け 超高回転型のモータを納入開始

IHI社製の電動アシストターボに採用 (IHIは国内メカとして初の電動ターボ実用化)

新製品: 高回転モータを、株式会社IHIより受注し、納入を開始しました。このモータは、IHIが日本で初めて実用化した電動アシストターボチャージャーの基幹部品であり、スーパースポーツカーに搭載されます。

超高回転型の本製品は一般的な車両駆動用モータと比較して小型ではあるものの、数倍に及び最高回転数を達成しています。本製品の実現には、回転数のみならず省スペース性や、瞬時の大電流に対応する高放熱構造が必要であり、当社はこれらを満たす最適設計を提案、さらには製造工法を確立することで、受注に至りました。当社グループは今後もクルマの電動化をチャンスととらえ、電動化関連製品の開発を加速し今後も電動化社会に貢献します。



▶ 「Japan Mobility Show 2025」に出展



2025年10月、東京で開催された一般社団法人日本自動車工業会主催のJapan Mobility Show2025に、当社は「Crafting the future with Pride」をテーマに出展しました。

ブースでは、当社グループのトレンド製品を配した1/3スケールのカーモックや、自動運転車に最適な次世代コンセプトシートの試乗体験イベントを実施しました。

来場者の皆さまには、未来のクルマづくりを支える当社の技術とこだわりを、実際に体感していただきました。

今後も当社グループは、快適性と安全性を追求した製品開発を通じて、豊かな社会の発展に貢献していきます。

株主アンケート結果のご報告

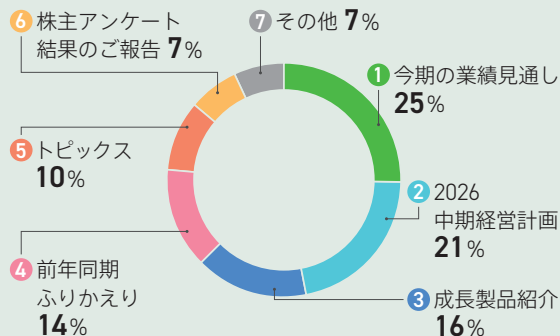
当社は、株主の皆さまの声をお聞かせいただくため、株主アンケートを実施しています。

昨年の「株主の皆さまへ 2024年度中間報告書」にてご協力をお願いした結果、多くの株主さまからのご回答をいただきました。

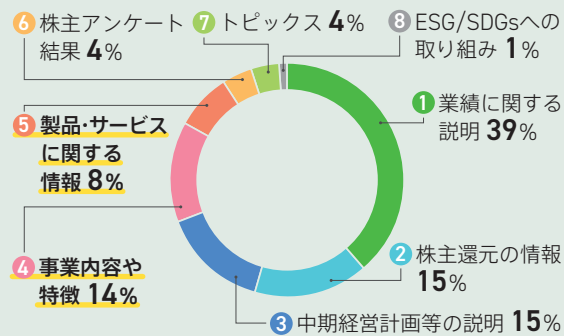
ここにアンケートの集計結果の一部についてご報告いたします。

アンケート集計結果

1. 関心があったページはどこですか？ (複数回答)



2. 今後、記載を希望または充実してほしい情報は 何ですか？(複数回答)



▶ 上記アンケート集計結果2.において、業績以外にも、事業内容、製品・サービスに関する情報の充実に望む株主の皆さまの声を踏まえ、今年度は、本中間報告書9ページにて、**カーボンニュートラルの達成に向けた当社の新熱処理技術に関する取り組み**をご紹介します。

また、個人投資家の皆さまへ、下記サイトをご用意しています。ぜひご覧ください。

<https://www.nhkspg.co.jp/ir/investor>



多くのご回答ありがとうございました。

皆さまよりお寄せいただいたご意見・ご要望は、今後の中間報告書に活かしていきます。

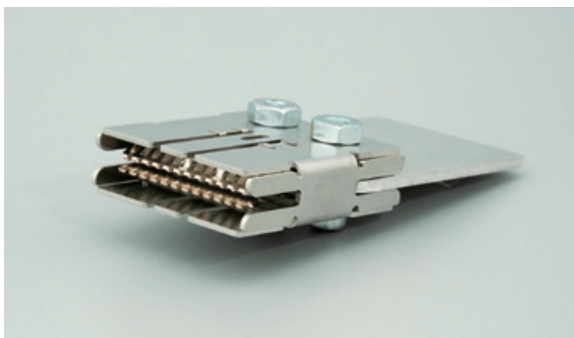
いただいたご意見・ご要望に対するご回答

Q 新たに電動車用に開発した製品を教えてください。

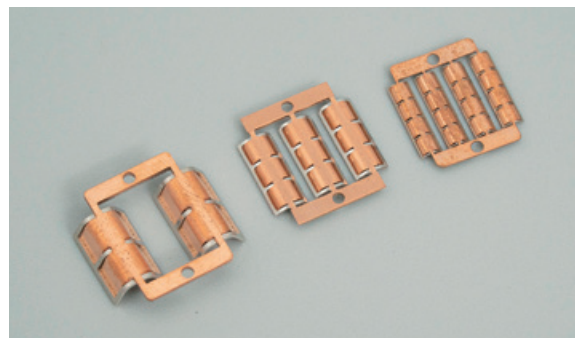
A 電動車のインバーターや、電装品をつなぐバスバーでの使用を想定したばね製品「HyCS[®]*1」を開発しました。本製品は板状のばねと、異なる金属部材を組み合わせた構造により、ばね性と導電性、またはばね性と伝熱性を持ちます。

【概要と特長】

名 称	HyCS [®] ジョイント	HyCS [®] TIM ^{※2}
概 要	大電流に対応可能な電気接点ばね	高い伝熱性を持つばね
特 長	● 500Aの大電流下でも使用可 ● 組付けが容易、締結部が壊れにくい	● 熱を効果的に逃がす構造 ● ばらつきある隙間でも安定した接触を確保
用 途	バスバー締結など	電子部品の放熱など



HyCS[®]ジョイント



HyCS[®]TIM

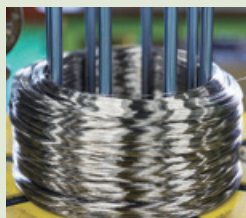
※1 Hybrid Conducting Spring/Structure

※2 TIM: Thermal Interface Materialの略。発熱デバイスと放熱デバイスの間に挿入される熱伝導性材料の意。

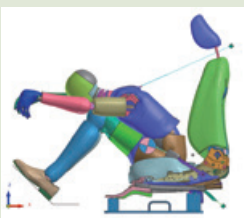
当社グループは今後も金属加工の技術を活かし、
なくてはならないキーパーツで豊かな社会の発展に貢献していきます。

ニッパツグループを支えるコア技術

当社グループは、「技術のニッパツ」を掲げ、金属加工などのコア技術をベースに「なくてはならないキーパーツ」の創出に向けた研究開発を活発に行っています。製品設計や製品開発では、既存のコア技術に加えて、AIやデータサイエンスなどの分野についても大学や公的研究機関との連携を推進し、専門人材育成を積極的に進めています。



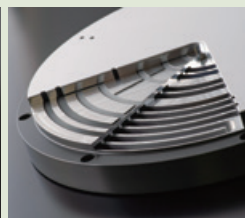
材料開発技術



シミュレーション技術



金属加工技術



接合技術



熱処理技術

カーボンニュートラルの達成へ向けた熱処理技術の進化

➤ 熱処理技術

熱処理技術とは、金属材料などに熱を加えたり冷却することで、材料の内部組織や特性を変化、向上させる技術です。高品質・高性能な当社の懸架ばね製品は、高度な熱処理技術をベースに量産しています。

➤ カーボンニュートラル達成を目指して

持続可能な社会の実現および未来のモビリティ社会の構築への貢献は、当社の重要なミッションです。従来の熱処理工程は多くのCO₂を排出することから、より環境負荷が低い電気加熱の適用や新しい熱処理技術の開発を推進することで、カーボンニュートラル達成を目指します。

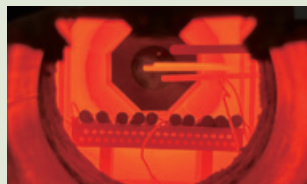
従来のLPGや重油による熱処理から電気加熱の適用拡大、さらに水素やアンモニア燃焼を活用した新熱処理技術の開発を推進しています。加えて研究開発部門による熱処理のシミュレーションを活用することでスピーディーな量産適用を目指しています。



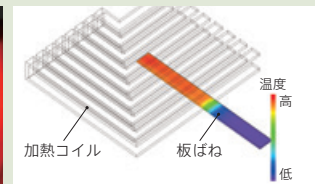
コイルばねの
通電加熱



スタビライザの
加熱シミュレーション



水素燃焼炉による
加熱実験



板ばねの
加熱シミュレーション

会社概要

(2025年9月30日現在)

会 社 名	日本発条株式会社
創 立	1939年(昭和14年)9月8日
資 本 金	170億956万6,312円
従業員数	5,281名(単独)、20,809名(連結) ※臨時従業員の年間平均雇用人員を含む ※従業員数は、2025年3月31日現在の人数です。
本 社	〒236-0004 横浜市金沢区福浦3-10
事 業 部	ばね生産本部、シート生産本部、 精密ばね生産本部、DDS生産本部、産機生産本部

グループ会社	53社(うち連結対象会社38社、持分会社7社) 国内23社、海外30社
工 場	横浜工場(ばね/シート)、滋賀工場、群馬工場、豊田工場、 厚木工場、伊那工場、駒ヶ根工場(DDS/産機)、 伊勢原第一・第二工場、宮田工場、野洲工場
分 館	横浜みなとみらい分館
支 店	北関東支店、浜松支店、名古屋支店、大阪支店、広島支店、 福岡支店
上 場	東京証券取引所 プライム市場(証券コード5991)

株式の状況

(2025年9月30日現在)

発行可能株式総数	600,000,000株
発行済株式総数	231,066,144株
株 主 総 数	14,687名

大株主

(2025年9月30日現在)

株 主 名	所有株式数 (千株)	持株比率 (%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	24,892	12.22
三菱UFJ信託銀行 退職給付信託 大同特殊鋼口 共同受託者 日本マスタートラスト信託銀行株式会社	22,392	11.00
双日株式会社	13,199	6.48
みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 神戸製鋼所口 再信託受託者 株式会社日本カストディ銀行	9,504	4.67
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	9,448	4.64
みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 みずほ銀行口 再信託受託者 株式会社日本カストディ銀行	5,753	2.83
株式会社横浜銀行 (常任代理人 株式会社日本カストディ銀行)	5,718	2.81
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505001 (常任代理人 株式会社みずほ銀行決済営業部)	4,570	2.24
日本発条社員持株会	4,491	2.21
THE BANK OF NEW YORK, TREASY JASDEC ACCOUNT(常任代理人 株式会社三菱UFJ銀行)	3,053	1.50

※持株比率は、自己株式を控除して計算しています。

※当社は、自己株式27,438,482株を保有していますが、上記大株主からは除外しています。

取締役・監査役

(2025年9月30日現在)

代表取締役会長	茅本 隆司	社外取締役	末 啓一郎
代表取締役社長	上村 和久	社外取締役	田中 克子
代表取締役副社長	高村 典利	社外取締役	玉越 浩美
代表取締役副社長	堀江 雅之	社外取締役	古川 玲子
取締役常務執行役員	佐々木俊輔	常勤監査役	豊田 雅一
		常勤監査役	水谷 直也
		社外監査役	海老原一郎
		社外監査役	山田 祐子

執行役員(取締役兼務者を除く)

(2025年9月30日現在)

専務執行役員	梅野 純	執行役員	市川 乃樹
専務執行役員	池尻 修	執行役員	佐々木良隆
専務執行役員	立川 俊洋	執行役員	岡 順一
常務執行役員	一杉 守宏	執行役員	三柳 暁
常務執行役員	岡島 創	執行役員	石川 英男
常務執行役員	田中 充	執行役員	岡田 信一
常務執行役員	山口 昌由	執行役員	中村 剛
常務執行役員	伊藤 洋二	執行役員	二宮 勇
常務執行役員	斉藤 清一	執行役員	富永 潤
常務執行役員	齋藤 則幸	執行役員	和田 恭
常務執行役員	力徳 和尚	執行役員	花待 年彦
執行役員	池知 洋一	執行役員	古瀬 武志
執行役員	宮原 淳一	執行役員	松下 洋朗
執行役員	齋藤 達也	執行役員	古月 康彦

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月
基準日	定時株主総会 3月31日 配当金受領株主確定日 3月31日および中間配当を行う場合は9月30日
単元株式数	100株
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711(通話料無料)
郵送先	〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
公告方法	電子公告により行います。 ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
	https://www.nhkspg.co.jp/
	

お知らせ

- 株主さまの住所変更その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取扱できませんのでご注意ください。
- 特別口座に記載された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記 三菱UFJ信託銀行 証券代行部 にお問合せください。三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次いたします。なお、特別口座に記載された株式を売却するためには証券会社等に一般口座を開設し、特別口座から株式を振替えるお手続きが必要となります。
- ただし、下記3.にご説明します単元未満株式(100株未満の株式)については、証券口座に振替をせずに売買することが可能です。
これについては三菱UFJ信託銀行にお申し出ください。
- 市場で売買できない単元未満株式につきましては、当社に対してご所有の株式を時価で売却すること(買取請求)、または単元株となるまでの不足株式数を当社から購入すること(買増請求)ができます。いずれのお手続も口座を開設されている証券会社等にお問合せください。なお、特別口座に記載された株式については、三菱UFJ信託銀行 証券代行部へお問合わせください。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

株主の皆さまの声をお聞かせください

コエキク



当社では、株主の皆さまの声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。
お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、アクセスキー入力後に表示される
アンケートサイトにてご回答ください。

<https://koekiku.jp>

アクセスキー 5991Dk9T



ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝を進呈させていただきます。

本アンケートは、株式会社プロネクサスの提供する「コエキク」サービスにより実施いたします。
アンケートのお問い合わせ「コエキク事務局」✉ koekiku@pronexus.co.jp